

2027

Mie Prefectural Ueno High School

UENO



高 三重県立上野高等学校

自彊不息

自彊不息(じきようふそく)は、易経中
国五経の一つの「天行健、君子以自彊不
息」天地の運行がすこやかであるよう
に、君子も自ら努め励む」に由来し、「努
力して怠らない」という意味です。

伊賀の平の 道遠く
通ひ来りて 丘の上の
学び舎ここに 寄り集ふ
高き教を 仰ぐため
城の石垣 底深く
濠に据ゑたる さまを見る
崇廣堂を 庭つづき
学のしづけき さまを見る
四方を開める 山々も
丘に登れば 低く見ゆ
吾等の望み 山々を
越えて溢れて 外に出ん

自分の「今」を、未来を創る力に
ここから広がる、私たちの可能性

未来に向けてともに「今」を積み重ねていこう

急激に社会が変化する中で、文部科学省が高校教育改革の柱として掲げる「探究・文理横断(学際)・実践的な学びの推進」「理数系教育のさらなる充実」。これらを踏まえ、上野高校では、令和7年度より学際探究科を設置するとともに、理数科を2クラス編成としました。

本校では、校訓「自彊不息」を礎に、生徒の皆さん一人ひとりに、「課題解決力」「行動力」「挑戦心」といった資質・能力を育むことを大切にしています。

そして、「伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける生徒」の育成を目指し、「日本一、生徒も先生もイキイキしている学校」の実現に向けて挑戦していきます。

上野高校は、生徒の皆さん、保護者、地域の方々とともに歩み、学びを深めていく学校です。私たちの「今」の学びと行動は、必ず未来へとつながっていきます。

一緒になって、上野高校の、そして私たち一人ひとりの可能性を広げていきましょう。



校長 服部 秀一

歴史と伝統を備え、かつ進化し続ける上野高校

上野高校は、自分を成長させることができる場所です。学びの場は教室内の授業だけではなく、大学の先生や卒業生、台湾の高校生との交流、企業訪問など、様々な環境での学習機会があります。また、1年を通した課題研究は探究心を磨き、部活動では目標に向けて切磋琢磨し、教室では互いに教え合い、各行事ではアイデアを出し合い一致団結します。

上野高校で過ごす3年間は、未来への大きな一歩となります。ここで得られる経験と出会いは、あなたの自信と力になり、これからの人生を輝かせる原動力になるはずです。私たちと一緒に、最高の環境で自分の可能性を広げ、共に大きく成長し、未来へ羽ばたいていきましょう。次の上野高校の歴史を作るのは、私たちです。



生徒会長 井村 天喜(2年)

目指す学校像

日本一、生徒・先生がイキイキしている学校

グラデュエーション・ポリシー (育みたい資質・能力)

めざす生徒像

伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける生徒

育みたい資質・能力

- 課題解決力…自ら課題を発見し、その解決に向けて自分の考えを深めたり広げたりしながら、論理的に考える力
- 行 動 力…自分がとるべき行動を理解し、自分の考えに基づき周囲を巻き込んで行動する力
- 挑 戦 心…自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力

カリキュラム・ポリシー (教育活動)

- 「課題解決力」や「行動力」、「挑戦心」を向上させる探究学習を推進
- 生徒一人ひとりが自己目標を実現できる教育活動を推進
- 「思考力・判断力・表現力等」を育むため、アウトプットを重視した学習活動を推進

アドミッション・ポリシー (入学時に期待される生徒の力)

- 本校を志望する動機が明確で、入学後は様々な場面でリーダーとなる資質・意欲を持っている者
- 学習意欲が旺盛で、本校の学習内容及び教育活動への興味・関心が高く、優れた思考力・判断力・表現力を身につけ、主体的に学ぶことができる者
- 高い学力を有し、将来に対するビジョンを持っている者



学際探究科



～未来を切り拓く学び～

学際探究科は、これまでの普通科の学びに加え、学際的な探究活動を通して、創造的な発想や新しい価値を創造する力を育み、変化の激しい時代を柔軟に対応できる生徒を育成します。

理数科



～世界を見据え、より深く、より広く～

理数科は、理数教育を軸に、文理融合の学問にも対応する学科です。少人数教育を通して生徒一人ひとりの個性を伸ばし、より深い学びを追求する生徒を育成します。

探究の学びを重視

Society 5.0やSDGsに対応した探究学習を重視し、普通科をさらに進化させた「学際探究科」。自身の興味に基づき課題を設定し、探究することで、変化に柔軟に対応し、新たな価値を生み出す力を育みます。

多様化する大学入試に対応し、探究活動の成果や自己表現力も評価対象となることで、進路実現力を高めます。



探究活動を深めるためのフィールドワーク

フィールドワーク計画

- ・伊賀地域のフィールドワーク
伊賀を学び場として課題を発見し、解決に向けた探究を実践します。
- ・国内フィールドワーク
地元伊賀地域の活性化を目標に、信州などで探究活動を行います。
- ・企業訪問
地元等の企業を訪問し、高校での学びとの繋がりを探究します。
- ・SSH海外研修(台湾)
台湾の高校生との交流を通し、互いの探究活動を高めます。

理数科で広がる可能性

医学部を含む難関理系学部への進学を強力にサポート。文系進路も選べる柔軟なカリキュラムで、幅広い進路に対応します。

仲間と高め合える独自の行事や、大学・研究機関との連携による最先端の研究機会が豊富。知的好奇心を刺激し、研究の面白さを体感しながら将来の選択肢を広げます。



東京キャリアアップツアー(筑波サイエンスツアー)

様々な行事で学習へのモチベーションアップ

理数科の主な行事

- 1 学期
理数科ミーティング
課題研究基礎(物理) A I による自己分析
- 夏休み
高大連携実験実習
理数科合宿
臨海実習
理数科体験講座
- 2 学期
課題研究基礎(化学・生物)
東京キャリアアップツアー
SSH海外研修(台湾)
- 3 学期
課題研究基礎(地学)
みえ探究フォーラム
課題研究中間発表会



産官学連携セミナー



東京キャリアアップツアー(企業研修)

学際探究科 カリキュラム

1 年次	現代の 国語	言語 文化	地理 総合	歴史 総合	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	化学 基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	英語 コミュ Ⅰ	論理 表現Ⅰ	家庭 基礎	情報Ⅰ	UQ	みらい 探究Ⅰ	LHR
2 年次	論理 国語	古典 探究	公共	【選択群】 地理研究 世界史研究 日本史研究	数学Ⅱ	数学B	数学C	物理 基礎	生物 基礎	理科 演習	体育	保健	英語 コミュ Ⅱ	論理 表現Ⅱ	UQ	みらい 探究Ⅱ	LHR	
3 年次	体育	進路に応じた選択科目													情報 演習	みらい 探究Ⅲ	LHR	

※「UQ」と「SQ」は学校設定科目

理数科 カリキュラム

1 年次	現代の 国語	言語 文化	地理 総合	歴史 総合	理数数学Ⅰ		理数化学		体育	保健	芸術Ⅰ	英語 コミュ Ⅰ	論理 表現 Ⅰ	家庭 基礎	情報 Ⅰ	みらい探究 RⅠ	LHR		
2 年次	論理 国語	古典 探究	公共	【選択群】 地理研究 世界史研究 日本史研究	理数数学Ⅱ			理数物理		理数生物		理数 化学	体育	保健	英語 コミュ Ⅱ	論理 表現 Ⅱ	みらい探究 RⅡ	LHR	
3 年次	体育		進路に応じた選択科目													情報 演習	SQ	みらい探究 RⅢ	LHR

※「SQ」は学校設定科目

みらい探究 学際探究科

「探究活動(みらい探究)」は、「自分の『知りたい!』を追求して、未来を切り拓く力を育てる学び」です。自分で調べ、地域の人に話を聞き(フィールドワーク)、集めた情報をまとめて発表します。

例えば、「伊賀市をもっと元気にするには?」「大きな災害が起きたら、私たちはどうすればいい?」といった、身近な地域や社会の課題について深く考え、解決策を探していきます。

この活動を通して、「自分で課題を見つけ、解決策を考え、行動し、伝える力」を身につけることができます。



UQ(上野クエスト) & SQ(進路クエスト)

上野高校で実施されている、生徒の「探究力」を育成するためのプログラムです。このプログラムでは、探究活動に必要な「データサイエンス」のスキル(統計用語、データ分析、データ分析結果の伝達方法など)を学習します。

探究力は「自律的探究力」と「協働的問題解決力」の2つの側面からなります。社会貢献性や独自性の観点から生徒の探究力を磨いていきます。例えば、「30分で水に溶ける固体を開発し、社会にどう役立てるか」といった課題です。

生徒は主体的に課題に取り組む力や、他者と協力して問題を解決する力を養い、将来の社会で活躍するための総合的な探究力を身につけることを目指します。

探究活動を経験した先輩より



探究では、地元の方の熱意や課題に直接触れることで、物事を多角的に見る視点が養われました。また、調査内容を外部に発信する経験を通じて、自分の考えを分かりやすく表現する力も身につきました。

これまでは勉強に「答え」があるものだと思っていましたが、この活動を通じて気づいたことがあります。それは、答えのない問いに対して自ら考え、動き、納得のいく解決策を探すことの楽しさです。こうした経験が、私の大きな自信につながっています。

2年:鈴木 愛海



信州探究ツアーで松本市を訪れ、伊賀市との違いを実際に見ることで、その地域が評価される理由を実感することができました。外の地域と比較することで、これまで当たり前だと思っていた地元の環境や文化の新しい価値を見つけることができました。

企業見学や市内の観光を通じて、得られる学びが多くありました。さらに、この合宿が秋の体育祭や文化祭のあと、つまりクラスの絆が深まった時期に開催されたからこそ、より有意義で印象深い時間になったのだと思います。地域を学ぶ、クラスで過ごす、そのどちらも大切な経験となりました。

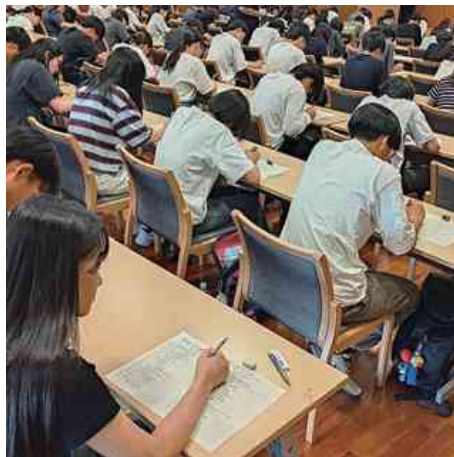
2年:岡本 悠世

みらい探究 理数科

自分で設定した研究テーマについて、深く掘り下げていく課題研究を行います。実験をしたり、研究者が分析したりするように、論理的思考力を磨きながら進めていく学びです。

1月末に中間発表を行い、得られたフィードバックをもとにさらに調査活動を進めます。2月以降に分析と考察を深め、成果をまとめた発表資料を作成し、選考会に臨みます。そして5月のみらいプロジェクト発表会で発表します。

この探究活動を通して、発想力や発信力、仲間と協力する協創力や、疑問を追求する質問力を養います。変化の激しい社会で必要とされる、自ら考え、挑戦し、未来を切り拓く力を身につけることができます。



—— 高大連携について ——

理数科の課題研究では、生徒一人ひとりが自らの興味・関心に基づいたテーマを設定し、主体的に探究を進めることができます。研究活動においては、本校教員による指導に加え、三重大学伊賀研究拠点の協力のもと、実験のサポートや専門的な助言を受けることができるなど、充実した研究環境が整っています。また、課題研究に向けた基礎学習として、三重大学生物資源学部との連携による海洋実習や、実験技能の習得からデータの分析・活用方法に至るまで、大学教員の指導を受ける実験実習を実施しています。これらの取組を通して、生徒の知的好奇心を高めるとともに、将来の進路選択にもつながる学びを提供しています。



高大連携 海洋実習



理数科 課題研究



三重大学伊賀研究拠点 実験実習

課題研究を経験した先輩より



理数科だからこそ得られる学びがある。

理数科には、勉強や部活動に全力で取り組む仲間がたくさんいます。そのような環境の中で、周囲に負けたくない気持ちが芽生え、自然と日々の努力につながりました。

理数科のもう一つの魅力は、学年を超えた縦のつながりです。夏の理数科合宿では、先輩や後輩と仲を深めることができます。私は先輩から課題研究を継承し、多くのアドバイスをいただきながら研究を進めることで、仮説を立て、実験や考察を行うプロセスの楽しさに気づくことができました。

さらに、東京でのキャリアアップツアーや大学訪問など、さまざまな行事も経験できます。このように、実験を通して自分で答えを見つけるプロセスの楽しさを知ることができるのが、理数科の最大の魅力です。

3年:小澤 咲月

学びのクロス

従来の「科目」という垣根を取り払い、異なる2つの教科がタッグを組んで展開する学際的な特別授業「学びのクロス」を年1回実施しています。この取り組みのねらいは、単なる知識の習得にとどまらず、多角的な視点から新しい「問い」に挑戦する楽しさを知ることです。

専門性の異なる教員による「知の融合」を目の当たりにしながら、みなさんは自身の興味・関心を大きく広げ、将来の進路や探究活動へとつながる新たな視点を手に入れることができます。知的好奇心を刺激するこの挑戦が、みなさんの学びをさらに進化させていきます。

実施講座紹介

【国語 × 英語】和歌の英訳から見る比較文化

百人一首の英訳を通じ、日本と英語圏の文化や言語観の違いを考察する。

【家庭 × 情報】未来の暮らし・スマートホーム

家電の歴史を学び、AIやIoT技術を活用した便利な生活を実現するプロトタイプ。

【音楽 × 養護】リズムで体得する救命講習

心臓のリズムを音楽と捉え、適切なBPM(テンポ)に合わせて心肺蘇生を実践する。

【物理 × 国語】文理の両面から探る「時間」の正体

文学と物理学、相反するアプローチで「時間」という概念の解明に挑む。

【公民 × 数学】不等式で解く「場所の経済学」

企業の出店戦略を数学的に分析し、ビジネスを支える数学の力を体感する。

【歴史 × 英語】なりきり歴史プレゼン

歴史上の人物になりきり、英語でスピーチ。史実の理解と発信力を同時に磨く。

【地理 × 数学】地図と数式で迫る!攻城計画

上野城での実地計測をもとに、城を幾何学的に分析・攻略するフィールドワーク。

【物理 × 歴史】考古学を科学する

「なぜ過去のことがわかるのか?」という謎を、物理的な思考法で解き明かす。



放課後カフェトーク

みなさんと年齢に近い先輩や、関心の高い分野で活躍する専門家、そして時には本校の教職員を「話し手」としてお招きし、車座になって気軽に語り合う場です。平日の放課後、不定期に本校図書館で開講しています。話し手には本校の卒業生をはじめ、環境保全、美容業界、鉄道、防災、料理研究など、様々な経験をされた社会人の先輩方が登場。ご自身のリアルな体験談を直接聞くことができます。

さらに、トークの最後には話し手からの「おススメ本」の紹介もあり、みなさんの学びを一層深めるサポートをします。この取り組みは、上野高校が掲げる「社会の課題に挑戦し続ける生徒」へと成長するきっかけづくりの一環です。

実施テーマ例

川という宝物：服部川を題材にした環境保全と企業の関わり
鉄道について考える会：伊賀地域の交通ネットワークの未来
上高ユースカフェ：心と体の健康について専門家に相談
哲学Bar：ぬいぐるみを手に対話する「嘘」の是非
看護師の卵に聞く：実習のホンネと大学生活の実際
現地で考えた本当に役立つ防災と保存食の知恵
参考書のプロが教える、志望校合格のための超実践的学習法
地域活性化：駅前商店街での子ども支援と食の活動
伊賀のポテンシャル：食を通じたソーシャルビジネス



イキイキ塾

学期末考査終了後から長期休業開始までの、約2週間の放課後、みなさんが主体的に時間を活用できるよう、上野高校独自の特別講座「イキイキ塾」を開講しています。本校教員がそれぞれの得意分野を活かしたユニークな講座から、外部の専門家を講師に招いた本格的な講座まで、知的好奇心を刺激する多様なプログラムが揃っています。

普段の授業とは一味違う学びを通して、みなさんが自分の新たな可能性を発見する絶好の機会です。



過去の実施講座例

■異世界からのチート式 数学講座

大学レベルの知識や裏ワザ、圧倒的な力で高校数学を攻略する。

■「チ。―地球の運動について―」解説

人気作品を入り口に、地学の視点から地動説などの天文理論を読み解く。

■現役の学校の先生が作った、カードゲームで遊ぼう!

国語や言葉が好き、カードゲームが好き、人と話すのが好きな人のためのゲーム。

■プロから学ぶテーピング学とカラダパフォーマンス向上ストレッチ

外部トレーナーと体育科教員と共にテーピング方法を学び、体のコンディショニングを把握して運動パフォーマンス向上につなげる。

■スポーツリズムトレーニング

アップテンポな音楽に合わせ、ジャンプするなど様々な動作を行い、脳を活性化させながら楽しく体を動かす。

■Let's Cooking 〜じゃあ、あんたが作ってみよう〜

レシピ作成や買い出しから自力で行い、日常の「当たり前」を再考する。

■オセロに勝つためのセオリー

必勝形や逆転の手法など、実戦で即役立つ論理的な戦略をマスターする。

■癒しのコンサート♪

音楽選択生徒による生演奏。校内で本格的なステージを鑑賞できる。

■知的書評合戦(ビブリオバトル)

5分間で本の魅力をプレゼンし、一番読みたくなった本を決める書評ゲーム。

■背油多めのバリカタ系数学講座

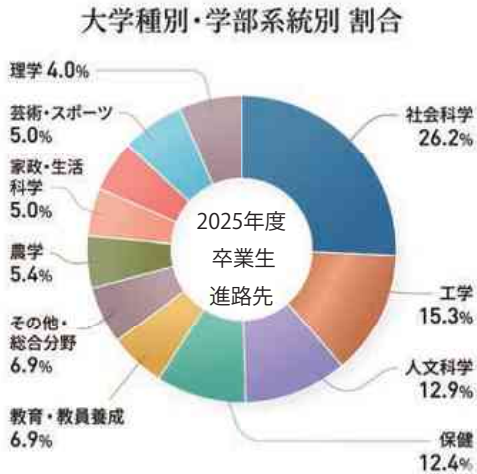
ラーメンの注文風に難易度を表現した、ユニークな学習対策シリーズ。

R8 年度入試主要大学合格者 (国公立は過年度生含みます。私立は延べ人数です)

国立大学		公立大学		私立大学	
				関東	関西
北海道大	1	横浜市立大	1	青山学院大	4
帯広畜産大	1	静岡県立大	1	駒 澤 大	1
東京海洋大	1	三重県立看護大	2	成 蹊 大	1
横浜国立大	1	滋賀県立大	1	中 央 大	1
岐 阜 大	3	大阪公立大	3	東 海 大	1
静 岡 大	1	兵庫県立大	1	日 本 大	2
名古屋大	2	神戸市外大	1	日本獣医生命大	1
名古屋工大	4	奈良県立大	1	法 政 大	1
三 重 大	19	高知工科大	1	東海	
京都工繊大	2			愛知学院大	1
大 阪 大	2			愛知工業大	1
大阪教育大	2			愛知淑徳大	2
奈良教育大	1			金城学院大	1
和歌山大	1			大 同 大	5
鳥 取 大	1			至学館大	1
広 島 大	2			中 部 大	1
徳 島 大	2			南 山 大	2
香 川 大	2			名 城 大	3
愛 媛 大	1			名古屋学芸大	1
高 知 大	3				

過去 5 年間の主な国公立大学合格者数 (既卒含)

国公立大学	R 8	R 7	R 6	R 5	R 4
国 立 計	55	38	46	41	42
公 立 計	13	11	15	19	9
国公立合計	68	49	61	60	51



進路指導主事 中村晃太

質の高い授業ときめ細やかな指導

上野高等学校では、生徒一人ひとりの進路実現に向け、「日々変化する社会に対応できる力の養成」と「きめ細やかな指導」を支援の柱としています。

本校では、昨年度設置された学際探究科を中心に、文理融合・探究的な学びを推進し、単なる知識の習得に留まらず、複雑な社会課題を多角的に捉え、自ら解決策を見出す実践的な知性を育むことを目標としています。こうした主体的な姿勢が、近年の国公立大学や医学部医学科を含む難関校への合格実績向上へと繋がっています。

志望校合格に向け、定期的な個別面談や模試分析を徹底し、教員が生徒の伴走者となって計画的にサポートします。変化を恐れず、未来を自ら描き出す逞しさを、ここ上野高校で共に養いましょう。

Alumni voices

上野高校で広がった化学の夢

もともと理系分野への進学を希望しており、将来は化学薬品などに関わる研究職に就きたいと考えていました。自身も花粉症で悩んだ経験から、花粉のつきにくい柔軟剤や静電気の起きにくい繊維など、日常生活を少しでも快適にする製品開発に強い関心を持つようになりました。

上野高校で一番力を入れたのは勉強です。2年生の3学期から本格的に受験勉強に取り組み、3年生の夏には進学先の大学を決めました。推薦入試での受験の可能性も意識していたため、特定の教科に偏らず全ての教科を大切に学ぶよう心がけました。中でも苦手意識のあった物理は、同じ参考書を繰り返し解き、理解できるまで粘り強く取り組んだことで克服していきました。

上野高校に進学して良かったと感じているのは、真面目で優しい、たくさんの友達に出会えたことです。文化祭の合唱コンクールでは、練習を重ねるうちにクラス全員の気持ちが一つになっていくのを感じ、絆が深まっていく瞬間を何度も実感しました。また、模擬試験が終わったあと、友人数人と三重大学近くの海へ出かけ、開放感の中でふざけ合った時間は、高校時代の大切な1ページとして今も心に残っています。



菅尾 茉初 さん

普通科

進学先：京都工芸繊維大学
工芸科学部

Alumni voices

上野高校で培った医学への志

中学2年生の頃から医学部への進学を志していました。ちょうど新型コロナウイルス感染症の影響で世界中が大変な状況となり、免疫や感染症について深く学び、研究したいという思いが強くなりました。将来は臨床の道に進むか、研究者の道に進むか、まだはつきりとは決めていません。そのどちらの道にも進める名古屋大学医学部を進路として選びました。

高校では陸上部に所属し、日々の練習に打ち込んでいました。苦しかったことやつらい場面も多くありましたが、振り返ってみると「とても楽しかった」と心から思える時間でした。特に2年生のとき、三重県高校駅伝で8位入賞を果たしたことは最大の喜びです。仲間と互いに切磋琢磨しながら力を合わせてつかった結果であり、高校生活の中でも強く印象に残る出来事となりました。

理数科の行事である東京キャリアアップツアーでは、上野高校の先輩である國友 尚さん（演出家・構成作家・研究者・実業家）から直接お話を伺う機会がありました。先輩が日本の第一線で活躍している姿は大きな刺激となり、自分も高い目標を掲げて努力したいという気持ちが一層強まりました。



小林 航也 さん

理数科

進学先：名古屋大学 医学部医学科

さまざまな行事が、人格形成に寄与します

スーパーサイエンスハイスクール

文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培い、将来国際的に活躍し得る科学技術人材等の育成を行う取組です。

課題名

伊賀から世界へ！
深化版「上高みらい探究プログラム」

目的

様々な課題の解決に向け自ら考え挑戦する力やみらいを切り拓く力を育むことで、地方都市伊賀から世界へはばたく科学技術人材の育成をめざす。

主な取り組み

- ・ 探究活動の強化(継承と外部接続)と新設「UQ」の充実
- ・ 各教科に探究活動の手法を取り入れる、教科横断型や文理融合型授業の開発
- ・ 海外研修の充実
- ・ 進路指導との連携の強化
- ・ 探究系コンテストへの積極的参加

Club activities

部活動も精一杯できる環境です

設置部活動 (令和8年4月1日現在)

運動部

陸上競技、バスケットボール(男・女)、ハンドボール(男・女)、サッカー、バレーボール(男・女)、テニス(男・女)、卓球、硬式野球、剣道、弓道

文化部

吹奏楽、ギター・マンドリン、放送、新聞、写真、美術、茶道、華道、あすなろインターアクト、U.S.S.Lab

同好会

ESS、ひゅうまんはあと、書道、演劇

Period

「45分×7限」の校時

「45分×7限」の校時表

月	火	水	木	金	土
1限 8:45 ~ 9:30	1限 8:45 ~ 9:30	1限 8:45 ~ 9:30	1限 8:45 ~ 9:30	1限 8:45 ~ 9:30	1限 8:45 ~ 9:30
2限 9:40 ~ 10:25	2限 9:40 ~ 10:25	2限 9:40 ~ 10:25	2限 9:40 ~ 10:25	2限 9:40 ~ 10:25	2限 9:40 ~ 10:25
3限 10:35 ~ 11:20	3限 10:35 ~ 11:20	3限 10:35 ~ 11:20	3限 10:35 ~ 11:20	3限 10:35 ~ 11:20	3限 10:35 ~ 11:20
4限 11:30 ~ 12:15	4限 11:30 ~ 12:15	4限 11:30 ~ 12:15	4限 11:30 ~ 12:15	4限 11:30 ~ 12:15	4限 11:30 ~ 12:15
= 昼休み =	= 昼休み =	= 昼休み =	= 昼休み =	= 昼休み =	= 昼休み =
5限 12:55 ~ 13:40	5限 12:55 ~ 13:40	5限 12:55 ~ 13:40	5限 12:55 ~ 13:40	5限 12:55 ~ 13:40	5限 12:55 ~ 13:40
6限 13:50 ~ 14:35	6限 13:50 ~ 14:35	6限 13:50 ~ 14:35	6限 13:50 ~ 14:35	6限 13:50 ~ 14:35	6限 13:50 ~ 14:35
7限 14:45 ~ 15:30	7限 14:45 ~ 15:30	7限 14:45 ~ 15:30	7限 14:45 ~ 15:30	7限 14:45 ~ 15:30	7限 14:45 ~ 15:30
SHR 15:35 ~ 15:45	SHR 15:35 ~ 15:45	SHR 15:35 ~ 15:45	SHR 15:35 ~ 15:45	SHR 15:35 ~ 15:45	SHR 15:35 ~ 15:45
清掃 15:45 ~ 15:55	清掃 15:45 ~ 15:55	清掃 15:45 ~ 15:55	清掃 15:45 ~ 15:55	清掃 15:45 ~ 15:55	清掃 15:45 ~ 15:55
放課 15:55 ~	放課 15:55 ~	放課 15:55 ~	放課 15:55 ~	放課 15:55 ~	放課 15:55 ~
《完全下校》 19:00					

April

入学式
対面式
面談週間
バス研修



May

みらいプロジェクト発表会
中間考査



June

体育祭
期末考査



July

クラスマッチ
三者面談
SSH東海フェスタ
学びのクロス
イキイキ塾
終業式



August

理数科合宿
高大連携実習
学校説明会
始業式



September

文化祭
面談週間



October

学際探究科
信州探究ツアー
理数科
キャリアアップツアー
中間考査



November

修学旅行



December

学びのクロス
イキイキ塾
期末考査
終業式
台湾研修



January

始業式
大学入学共通テスト
探究活動中間発表会



February

如月マラソン
みえ探究フォーラム
学年末考査



March

卒業式
クラスマッチ
修了式、離任式



上野高校は、意外に便利

掲載している発車時刻の電車に乗れば、始業時刻8時45分に間に合います。



区間で必要な通学定期券代(6ヶ月)

近鉄→伊賀鉄道

赤目口ー伊賀神戸ー上野市	46,440円
桔梗が丘ー伊賀神戸ー上野市	40,440円
松阪ー伊賀神戸ー上野市	50,970円
津ー伊賀神戸ー上野市	51,570円

JR→伊賀鉄道

亀山ー伊賀上野ー西大手	58,230円
笠置ー伊賀上野ー西大手	52,250円

*この金額は、伊賀市の「令和8年度伊賀鉄道通学定期券等購入費助成」を適用した場合の参考価格です。詳しい助成条件等はご自身でお確かめください。

Access Map



文部科学省スーパーサイエンスハイスクール 指定校

三重県立上野高等学校

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内107
TEL.0595-21-2550 (代) FAX.0595-24-7650(代)
www.mie-c.ed.jp/hueno
E-mail : huenoad@mxs.mie-c.ed.jp



上野高校公式HP



上野公式マスコットキャラクター
ぶんぶん



③MIE.UENO_1899